

科目名	生活科学				
単位	1	時間数	15	対象学年	1
担当講師	手島 洋				
ねらい	自らの生活を展開し、患者の生活を支えるための考えや価値観について生活事象や生活の課題に目を向ける。ビジョンを掲げて軌道修正を繰り返しながら、人生経営についてと物事が成り立つための、ルールについて今の時代にあった JustNow なトピックスから物の見方、考え方からヒントを得る。				
到達目標	医療従事者としてまた社会人として、私たちが生きる社会において必要な生活に関わる考え方や知識を得ることを目標とする。個人・社会・家族・組織・地域などの多様な視点から私たちの生活を見る。				
準備学習	各回の内容について、ニュースや社会的に話題になっていることについて調べておく。				
授業計画					
担当	回数	内容	方法		
手島	1	オリエンテーション 看護と人々の生活	講義		
	2	社会と個人の生活	講義		
	3	社会の近代化と生活の社会化	講義		
	4	認知症と個人の尊厳	講義		
	5	日本の家族介護者の現状と課題	講義		
	6	組織・集団とボランティア	講義		
	7	住民の地域活動	講義		
	8	まとめ 筆記試験	講義		
評価方法	*出席状況 (50%) *筆記試験 (50%)				
テキスト	*講義ごとにレジュメ・資料を配布する。 *書籍や冊子のテキストは使用しない。 <参考図書> *暉峻淑子「社会人の生き方」岩波新書 1388 *信濃毎日新聞取材班「認知症と長寿社会」講談社現代新書 2079				

科目名	情報科学				
単位	1	時間数	30	対象学年	1
担当講師	藤田 幸史				
ねらい	高度化する情報化社会に対応できるように情報リテラシー（情報セキュリティ・情報倫理を含む）、情報活用の基本を身につける。				
到達目標	ICTの基礎事項を理解して基本的なトラブル解決やセキュリティ対策ができ、情報検索・調査、レポート作成、表計算・グラフ作成・データベース操作・データ分析、プレゼンテーション文書の作成・活用が不自由なくできるようになる。				
準備学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTの基礎に対してはe-Learningサイトの小テスト問題による復習</li> <li>キーボード入力ではキーボードマスターによるタッチタイピング練習</li> <li>Word、Excel、PowerPointについては計10回程度レポート課題のファイルをe-Learningサイトに提出（期限は1週間後）</li> <li>情報セキュリティ・倫理レポート（授業1週間後）</li> </ul>				
授業計画					
担当	回数	内容	方法		
藤田	1	Windows 8の基本操作、日本語入力、e-Learningサイトの利用法、USBメモリの使い方、キーボードマスターによるタッチタイピング	講義		
	2	ICTの基礎1（情報のデジタル表現、コンピュータのハードウェア・ソフトウェア）	講義		
	3	ICTの基礎2（LANとインターネット）、Word-1：基本的文書作成	講義・実習		
	4	Word-2：図や表の挿入、文書の印刷、表現力アップ機能	講義・実習		
	5	Word-3：長文レポート編集、文書校閲	講義・実習		
	6	Excel-1：データの入力、修正、削除、表の作成、数式・関数による計算	講義・実習		
	7	Excel-2：表の編集、表の印刷、グラフの作成	講義・実習		
	8	Excel-3：高度なグラフ作成、データベースの操作	講義・実習		
	9	Excel-4：複数シートの操作、主な関数の使い方、ユーザ定義の表示形式の設定	講義・実習		
	10	Excel-5：ピボットテーブルによるデータ分析、データベースの活用、マクロの作成	講義・実習		
	11	PowerPoint-1：プレゼンテーションの作成と編集	講義・実習		
	12	PowerPoint-2：オブジェクトの挿入、プレゼンテーションの構成の変更	講義・実習		
	13	PowerPoint-3：特殊効果の設定、プレゼンテーションの印刷	講義・実習		
	14	情報セキュリティ・情報倫理ビデオ視聴	講義・ビデオ視聴		
	15	PowerPoint-4：他のアプリケーションデータの利用、共通デザインの設定、役立つ機能の利用	講義・実習		
評価方法	筆記試験40%、課題レポート及びタッチタイピング練習60%				
テキスト	配布プリント 情報リテラシーアプリ編 Microsoft Word 2013 Microsoft Excel 2013 Microsoft PowerPoint 2013 FOM出版				

科目名	心理学				
単位	1	時間数	30	対象学年	1
担当講師	高野 裕太				
ねらい	人間の行動と心の動きの関連性を学び、対人関係を成立させるための基礎的概念、発達段階に応じた行動、心理について学び、看護実践との関連について捉える。				
到達目標	人間の行動とそれに伴う心理的反応を理解し、説明できる。また、良好な対人関係を構築するための基礎を習得することができる。				
準備学習	事前学習としては書籍やインターネット等で講義の内容に関することを調べておくことが望ましい。講義中に配布する資料は講義後に見直すこと。				
授業計画					
担当	回数	内容	方法		
高野	1	心理学とは	オリジナルスライドを使用する。 講義前後での心理学に対するイメージの違いを説明できるようにする。		
	2	心理学の歴史	オリジナルスライドを使用する。 講義内容を復習し、心理学の大きな流れを理解する。		
	3	知覚	オリジナルスライドを使用する。 講義内容を復習し、人の知覚について理解する。		
	4	パーソナリティ	オリジナルスライドを使用する。 講義内容を復習し、パーソナリティ（性格）とは何かを理解する。		
	5	記憶	オリジナルスライドを使用する。 講義内容を復習し、人の記憶について理解する。		
	6	知能	オリジナルスライドを使用する。 講義内容を復習し、人の知能について理解する。		
	7	発達	オリジナルスライドを使用する。 講義内容を復習し、人の発達（幼児～高齢者）とは何かを理解する。		
	8	感情	オリジナルスライドを使用する。 講義内容を復習し、人の感情が生起されるメカニズムについて理解する。		
	9	学習 1	オリジナルスライドを使用する。 講義内容を復習し、人の行動が生起され、維持される過程を理解する。		
	10	学習 2	オリジナルスライドを使用する。 講義内容を復習し、人の行動が生起され、維持される過程を理解する。		
	11	臨床心理	オリジナルスライドを使用する。 講義内容を復習し、心理的アプローチとして代表的なものとその違いを理解する。		
	12	集団コミュニケーション（理論編）	オリジナルスライドを使用する。 講義内容を復習し、集団におけるコミュニケーションを理解する。また、実践編でのエピソードを探す。		
	13	集団コミュニケーション（実践編）	集団におけるリーダーシップの重要性をロールプレイで学ぶ。		
	14	アサーションスキル	アサーションスキルをロールプレイで学ぶ。		
	15	対人援助・ストレス対処	対人援助職で生じやすいストレスとその対処方法を理解する。		
評価方法	講義のコメントカード 15% 筆記試験 85%（筆記試験は一问一答形式（55%）と論述（30%）から構成する）				
テキスト	資料配布とする。				

科目名	人間関係論				
単位	2	時間数	30	対象学年	1
担当講師	西村 一生				
ねらい	よりよい社会生活を営むために不可欠な他者との関係について理解を深め、看護実践における良好な治療的人間関係を成立させるための基礎について学ぶ。				
到達目標	1. 人間関係による様々な悩みや病理について多角的な理解ができる。 2. 学生同士の対話やワークを通して対人援助職としてのコミュニケーションスキルを高めることができる。				
準備学習	次回の予習として、前回の学習内容をしっかりと復習しておくこと。				
授業計画					
担当	回数	内容		方法	
西村	1	オリエンテーション 自己理解ワーク①		講義・演習	
	2	人間関係と「不安」 感情の種類          不安と症状          不安の解消 コミュニケーション演習① レポート提出		講義・演習	
	3	同上			
	4	人間関係と「ストレス・トラウマ」 小児期におけるストレスとトラウマ 愛着障害（虐待）                                  ストレス・トラウマと脳 コミュニケーション演習② レポート提出		講義・演習	
	5	同上			
	6	同上			
	7	人間関係と「病理」 いじめ                                  DV                                  依存 コミュニケーション演習③ レポート提出		講義・演習	
	8	同上			
	9	同上			
	10	人間関係と「援助スキル」 リスニング          アサーション          コーチング コミュニケーション演習④ レポート提出		講義・演習	
	11	同上			
	12	同上			
	13	これからの対人援助 ケアの本質                                  対話の本質 自己理解ワーク② レポート提出		講義・演習	
	14	同上			
	15	まとめ		講義	
	※進行状況によっては、講義計画を変更する場合があります				
評価方法	筆記試験50%・レポート50%（5つの单元ごとに提出） 授業（講義・演習）への態度が悪い場合は減点する				
テキスト	なし				

科目名	基礎英語				
単位	2	時間数	45	対象学年	1
担当講師	賀谷 尚代				
ねらい	将来看護に携わる学生が基本的な英語力を理解し身につけることで、国際社会に対応する基礎能力を養う。				
到達目標	対話文を中心に学習することで、異文化に対する理解と対応力を養い、看護 医療従事者に必要な基礎英語力とコミュニケーション力を身につけることができる。				
準備学習	各 chapter 中の対話文の音読				
授業計画					
担当	回数	内容			方法
賀谷	1	Introduction Chapter1			講義
	2	Chapter 1 What is a nurse?			講義
	3	Chapter 1			講義
	4	Chapter 3 Patient-nurse relationship			講義
	5	Chapter 3			講義
	6	Chapter 3			講義
	7	Chapter 4 Communication with a patient			講義
	8	Chapter 4			講義
	9	Chapter 4			講義
	10	Chapter 5 International Communication with a patient			講義
	11	Chapter 5			講義
	12	Chapter 5			講義
	13	Chapter 6 Doctor-nurse relationship			講義
	14	Chapter 6			講義
	15	Chapter 6			講義
	16	Chapter 7 Related professionals			講義
	17	Chapter 7			講義
	18	Chapter 7			講義
	19	Chapter 8 Nurses and the hospital			講義
	20	Chapter 8			講義
	21	Chapter 8			講義
	22	Chapter 10 Nursing in the future			講義
	23	Review and conclusion 試験			講義
評価方法	出席状況 筆記試験				
テキスト	English for Nursing Students 看護学生のための総合英語 NAN' UN-DO				

科目名	英会話				
単位	1	時間数	30	対象学年	2
担当講師	中村 英子				
ねらい	看護・医療の場面で適応できるコミュニケーション能力を養う。				
到達目標	1. 英語で患者に対応出来るようになる。 2. 患者への望ましい英語対応を理解する。 DVD の例を見ながら看護現場での英語表現を学び、タスク学習を通して患者への適切な英語対応をシミュレーションする。				
準備学習	予習: 学習予定のユニットの DVD を繰り返し観て、テキストの単語、例文を予習しておく。 復習: 学習箇所の DVD を観て理解の確認をし、Key sentences を暗記する(翌週ミニテスト)。				
授業計画					
担当	回数	内容	方法		
中村	1	Introduction (Students' self-introduction 他)	講義 演習  DVD, Discussion, Role Play ミニテスト		
	2	U1: Greeting (紹介の仕方) DVD, Discussion, Role Play			
	3	U2: Giving Explanations (スケジュールの説明)			
	4	U2: Giving Explanations DVD, Discussion, Role Play			
	5	U3: Tests (X-ray) (X-ray 他の検査時の会話)			
	6	U3: Tests (X-ray) DVD, Discussion, Role Play			
	7	U4: Inviting the Patient to Talk, and Listening (患者との会話)			
	8	Mid-term Oral Test: U1~U4 Short Speech, Roll Play (U1~U4 Original scripts)			
	9	U4: Inviting the Patient to Talk, and Listening DVD, Discussion, Role Play			
	10	U6: Injection (注射時の会話)			
	11	U6: Injection DVD, Discussion, Role Play			
	12	U7: Vital Signs (バイタルサイン測定時の会話)			
	13	U7: Vital Signs DVD, Discussion, Role Play			
	14	Review and preparation for the group presentation			
	15	Final Oral Test: 主に U4~U7 Group Presentation			
	16	筆記テスト(U1~U7)			
評価方法	参加(出席)15%, グループプレゼンテーション 40% (20x2), 宿題 5%, 期末テスト(筆記) 40%				
テキスト	Everyday English for Nursing on DVD (園城寺康子他, 成美堂)				

科目名	哲学				
単位	1	時間数	30	対象学年	1
担当講師	松井 富美男				
ねらい	哲学的な見方や考え方を磨くことで人生の根本問題や現代社会の多様な問題に対処できる実践力を養う。				
到達目標	現代の倫理的諸問題に関して妥当な価値判断をくだすことができる。				
準備学習	予習よりも復習に力を入れること。授業で紹介される参考文献に直に当たって理解を深めること。				
授業計画					
担当	回数	内容			方法
松井	1	哲学とは何か			講義
	2	倫理学の位置づけ			講義
	3	行為の価値（1）－ 義務論			講義
	4	行為の価値（2）－ 帰結主義			講義
	5	生命倫理とは何か			講義
	6	優生学と生命倫理			講義
	7	自律とインフォームド・コンセント			講義
	8	医のパターナリズム			講義
	9	先端医療と遺伝子			講義
	10	生殖医療の現在			講義
	11	脳死と人の死			講義
	12	移植医療とエンハンスメント			講義
	13	人間の尊厳とは何か			講義
	14	安楽死と終末期ケア			講義
	15	死生観の諸相			講義
評価方法	授業感想文や小レポート（30%）と筆記試験（70%）による総合評価				
テキスト	資料配布 参考文献：『医学生のための生命倫理』（丸善出版）、『生命倫理百科辞典』（同）				

科目名	教育学				
単位	1	時間数	30	対象学年	3
担当講師	信木 伸一				
ねらい	看護における教育役割および生涯教育の必要性について学ぶ。				
到達目標	(1) 教育の意義や目標並びに教育学の要語について、看護の仕事と関連付けて説明できる。 (2) これからの社会で必要となる資質・能力を踏まえ、主体的・対話的・創造的な学びを実現するための教育方法について説明できる。				
準備学習	講義回は、ノートや配布資料による要点確認を行う。 演習発表回は、事前に発表資料の作成を行う。合計 15 時間以上の予習・復習が必要。				
授業計画					
担当	回数	内容			方法
信木	1	オリエンテーション―「教育」とは何か?			講義
	2	「教える」ということ―看護における教育役割を考える			講義
	3	なぜ学ぶのか? ―生涯にわたって勉強する意味を考える			講義
	4	「わかる・おもしろい」とはどういうことか			講義
	5	「教える／学ぶ」の基本原理 ―認識のしくみ			講義
	6	「教える／学ぶ」の基本原理 ―教育の思想			講義
	7	教育方法の諸理論			講義
	8	学習行動に働きかける実践的な技術			講義
	9	主体的な学び・対話的な学び・深い学びとは何か			講義
	10	アクティブラーニングと ICT の活用した学び			講義
	11	「評価」の目的と方法			講義
	12	これからの世界でよりよく生きていくための学力			講義
	13	主体的な学びの場をつくる演習① 健康教育をテーマに			演習発表
	14	主体的な学びの場をつくる演習② 安全教育をテーマに			演習発表
	15	「教える／学ぶ」、「他者に開く／受け容れる」 ―関係性の成立を考える			講義
評価方法	演習発表のルーブリック評価及び授業での質問・意言 (40%)、試験 (60%)				
テキスト	資料を配付する。				



科目名	家族関係論				
単位	1	時間数	30	対象学年	1
担当講師	宮畑 加奈子				
ねらい	社会状況の変化とともに家族の形態は多様化し、家族に関わる社会問題も増加しています。個人・国家と家族の関係、家族をめぐる法制度の変容等、普段見慣れた日常について法的視点を交えた観点から俯瞰することで、新たな思考方法を習得することを目的とします。				
到達目標	家族をめぐる法の理解を通じて、家族関係の現状と問題点について客観的な考察ができるようになります。				
準備学習	予習（教科書の該当箇所の事前確認）・復習を各回1時間ずつ行ってください。（計30時間） 各回のテーマに関連する社会問題についての事前・事後学習を行ってください。				
授業計画					
担当	回数	内容	方法		
宮畑	1	ガイダンス、「家族のかたち」の多様化 授業全体を通じての目標、家族に関する現代的課題についての学習	講義		
	2	家族をめぐる法の歴史 日本の家族法における戦前・戦後の制度的変容についての学習	講義		
	3	恋愛のルール 家族の存在の社会的意義、性的自己決定権に関する学習	講義		
	4	結婚のルール 婚姻の成立要件と法的効果についての学習	講義		
	5	血縁による親子関係 親子関係（父子関係・母子関係）をめぐる法制度の学習	講義		
	6	人為的な親子関係 養子（普通養子・特別養子）に関する法制度についての学習	講義		
	7	生殖補助医療をめぐる問題 人工授精、体外受精、代理懐胎に関する法制度についての学習	講義		
	8	親の権利・子の権利① 親権に関する法制度の学習	講義		
	9	親の権利・子の権利② 児童虐待防止法についての学習	講義		
	10	離婚のルール 離婚制度、離婚方法、離婚の法的効果についての学習	講義		
	11	成年後見制度 成年後見、任意後見、市民後見、家族信託についての学習	講義		
	12	家族の死と相続 法定相続と遺言相続の制度、近年の相続法改正についての学習	講義		
	13	婚姻外カップルの関係 事実婚、同性婚等による多様な家族制度についての学習	講義		
	14	国境を越える家族関係 国際結婚における家族のルール（国際私法）についての学習	講義		
	15	まとめ 授業全体を踏まえた家族をめぐる現代的課題についての学習	講義		
評価方法	定期試験（90%） 受講態度（出席等、10%） 定期試験の評価基準：基本的な法知識に基づく客観的な分析力を問う。				
テキスト	副田隆重、浜村彰、棚村政行、武田万里子 『ライフステージと法』第7版(2017)、有斐閣 (アルマ Interest)、1900円+税				

科目名	運動理論				
単位	1	時間数	15	対象学年	1
担当講師	藤岩 秀樹				
ねらい	身体活動（運動）時の生体反応や生理的適応について学び、現代人にとっての身体活動（運動）の意義・必要性について考える。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体活動（運動）時の生体反応や生理的適応について科学的根拠に基づいて理解できる。</li> <li>・現代人における身体活動（運動）の意義・必要性について理解し、説明することができる。</li> </ul>				
準備学習	講義時に次回講義で取り扱う内容について周知するので事前に予習しておくこと				
授業計画					
担当	回数	内容	方法		
藤岩	1	オリエンテーション	講義		
	2	体力の概念と測定評価	講義		
	3	運動と身体組成	講義		
	4	運動と骨格筋	講義		
	5	加齢と運動	講義		
	6	運動と暑熱環境	講義		
	7	運動と栄養	講義		
	8	まとめ、テスト	講義		
評価方法	筆記試験（60%）、授業レポート（40%）				
テキスト	資料配布				

科目名	運動実践				
単位	1	時間数	30	対象学年	1
担当講師	藤岩 秀樹				
ねらい	種々の運動実践を通してレクリエーションの企画および活動方法について学び、将来の看護場面での活用を目指す。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の体力レベルに応じた安全で効果的な運動実践について理解できる。</li> <li>・各種スポーツのルールおよび審判法について理解し、主体的に実践できる。</li> </ul>				
準備学習	各種スポーツのルールおよび審判法を理解し、主体的にゲームを運営できるようにしておくこと				
授業計画					
担当	回数	内容	方法		
藤岩	1	ウォーミングアップの理論と実践	実習		
	2	行動体力の測定と評価①	実習		
	3	行動体力の測定と評価②	実習		
	4	クールダウンの理論と実践	実習		
	5	運動・スポーツの実践活動①	実習		
	6	運動・スポーツの実践活動②	実習		
	7	運動・スポーツの実践活動③	実習		
	8	運動・スポーツの実践活動④	実習		
	9	運動・スポーツの実践活動⑤	実習		
	10	運動・スポーツの実践活動⑥	実習		
	11	運動・スポーツの実践活動⑦	実習		
	12	運動・スポーツの実践活動⑧	実習		
	13	運動・スポーツの実践活動⑨	実習		
	14	運動・スポーツの実践活動⑩	実習		
	15	まとめ	実習		
評価方法	授業課題の実施状況（70%）、技術の修得度など（30%）により総合的に評価する				
テキスト	資料配布				